

んな中、がんに対する薬の処方に関して議論がありました（僕はもちろんわかりません）。その中で「そうそう、そういう処方をする医者がいるんだよなあ」と

か「担当医の処方です後が変わっちゃうよね」

などという言葉が飛び交っていました。なかなか

か衝撃。医師の腕といえば手術のよ
うな技術だと思っていました。が、薬の知識や使い方も医師の腕なんですね。

歯科の場合は薬の種類が多いわけ
ではないので、口腔外科など専門の先生以外はそんなに知識の差があるわけでは
ありません。でも、医師の場合、かなりの知識がないといけない



んですね。セカンドオピニオンといえば治療法そのものについてだと思
っていました。が、薬の処方のセカン
ドオピニオンって絶対必要だなあと
思いました。

口内炎

皆さんの中にも口内炎を経験した
方がいるはず。実は口の中（唇も
含む）の炎症の総称なので原因は
様々だし、原因不明のものもありま
す。僕たちは大きく分けて外傷とそ
うでないものの2つに分けて考えて
います。

外傷のものは、何かの拍子に舌を
噛んでしまい、その後炎症を起こし
てしまったといったものです。この
ような状態であればしばらくすれば
自然治癒してしまうのでよほどひど

くなければ薬を塗ることもありませ
ん。一方、そうでないものは正直原因
解明されていません。皆さんも耳に
するかと思いますが、ビタミン不足
や寝不足などが原因と言われていま
す。

さて、このような口内炎に塗り薬
としてケナログというものがありま
す。僕たちも処方することがありま
すが、強い炎症には効果があります。
ということとは副作用も大きくありま
す。残念ながら口の中に何かあれば
すぐにケナログを塗っている方がい
ますが、実はかなり危険です。免疫抑
制作用もあるので、細菌感染による
炎症だと治すどころかひどくなつて
しまいます。

口の中は自分で治る環境が整って
います。薬に頼り過ぎないようにし
ましょう。